

# ネイチャー・ウォーク

平成 29 年 12 月  
2017. 12. 17 発行  
(通巻第 288 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャー・ウォーク

## 鎌倉古道秋深し

(JR八高線 武蔵高萩駅～西武新宿線 狭山市駅)



武蔵高萩駅に集合

今回のネイチャー・ウォークは、近隣で行われる多くのイベントとぶつかり合った日でしたが、武蔵高萩駅には 30 名の参加者が集合。本当にありがたいことです。ほんの 2 か月前まで、日かげを選んで集まっていたのに、今日はみなさん日なたに立っています。



北小畔川でカルガモ観察



日高市のマンホールのフタのデザインはカワセミ

鎌倉古道を散策開始。北小畔川ではカルガモが目の前を泳いでいたので、みんなで観察。また一部の参加者の方々は、カワセミも見ることができました…が、写真が撮れなかったので、マンホールの写真で御勘弁くださいませ。

女影古戦場跡地で小休止。私・スタッフAは、埼玉に引っ越してきてからずっと、「女影」という地名が気になっていたのですが、今回初めて訪れることができました。この地名の由来ですが、千丈ケ池（現在は仙女ケ池といわれています）に「せん」という女性が身を投げて、この池からせんの幽霊の影が映るとされ、「女の影」から「女影」の地名になったらしいです。そして、今回もありましたよ！野菜の無人販売所。最近のネイチャーは「お買い物ツアー」も兼ねています（・v・）ニコニコ



女影古戦場跡



最近の歩く会でよくある光景



みんなで道しるべの文字を解読



鎌倉古道らしい切通し

道端にひっそりと、当時の道しるべが残っています。みんなで文字の解読。ここは鎌倉古道と八王子へ向かう道とが分かれる場所のようです。

鎌倉古道は、少しでも早く武者が鎌倉へ到着できるよう、登り下りが出来るだけ少なくなるように造られています。そのため、丘を越える場所はだいたい切通しとなっています。機械のなかった鎌倉時代に、これだけの土木作業が関東のいたるところで行われたことには、頭が下がる思いです。



今歩いている所が当時のままの鎌倉古道

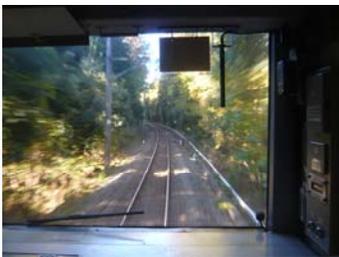
今回の参加者の中にはリーダーよりもはるかに鎌倉古道の事を詳しくご存知の方がおり、いろんなことを教えていただきました。「ちょっと曲がって、こっちを歩きましょう。」「え、なんで?」「ここが当時のままの鎌倉古道なんですよ。」「えーっ、じゃあこの土地の持ち主は鎌倉幕府?」←最後はスタッフAのサムい冗談



河川敷でお昼ごはん

入間川に到着。ここはかつて「八丁の渡し」と呼ばれており、武蔵武士たちは、幅八丁（約900m）の入間川を、馬で、あるいは徒歩で渡ったことでしょう。そんな800年前の光景に思いをはせながらのお昼ごはんです。

このあと、もう少し歩いて、全員無事に狭山市駅にゴールしました。



今回、運営スタッフが手薄で「Walk（多く）出現認定証」および景品の授与は先延ばし。そのかわり番外編の写真を2枚。いずれも川越線の車内から撮ったものです。車窓からの富士山と森の中を走り抜ける電車。私・スタッフAが川越線の中で大好きな光景です。

季節はすっかり冬！朝は「冷え込む」という言葉がぴったりなくらい寒いですが、次回以降も元気に歩きましょう！